

地理歴史 〔 世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 〕 〔 100点 60分 〕

この問題冊子には、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」の6科目を掲載しています。解答する科目を間違えないよう選択しなさい。

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。
- 3 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史A	4～25	左の6科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
世界史B	26～51	
日本史A	52～79	
日本史B	80～103	
地理A	104～135	
地理B	136～169	

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名・フリガナ及び試験場コード(数字)を記入しなさい。

裏表紙に続く。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史 A

(解答番号 ~)

第1問 次の文章は、明治初めの錦絵などを展示した展覧会での太郎さんと先生の会話である。この文章を読み、下の問い(問1～3)に答えよ。(配点 6)

先生：この絵(図1)は、明治初めの錦絵だね。

太郎：蒸気機関車が走っていますね。でもどうして電柱が立っているんですか？

先生：これは、当時の に利用されたもので、1871年には上海・長崎間が海底ケーブルで結ばれている。こうした絵は、開化絵とよばれた。㉑ 交通や通信の発達は、文明開化の象徴だったんだね。

太郎：遠くにたくさんの船が見えますが、あれは蒸気船ですか。

先生：そうだね。でも、帆を張った和船も多いね。明治中期まで廻船にさかんに用いられたんだ。こちに当時の蒸気船の絵(図2)があるよ。

太郎：側面に水車のようなものがついていますね。

先生：これは外輪船といって、蒸気機関でこの外輪を回して進むんだ。

太郎：でも、蒸気船なのに帆を張っていますよ。

先生：このころの蒸気船は燃料の を節約するために、外洋ではなるべく帆走したんだ。

太郎：無風や逆風の時には蒸気をおこすんですね。

先生：風待ちをしないで済むし、入港しやすくなったんだ。技術の進歩によって、しだいに定期的な運航も確保できるようになる。㉒ 海外との交流の手段も大きく変わってきたんだよ。

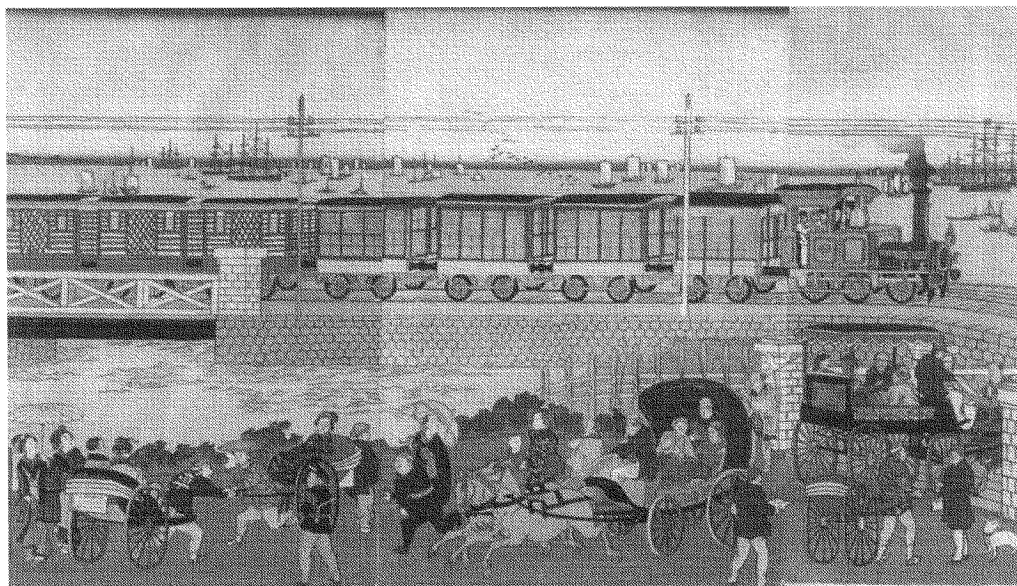


图 1

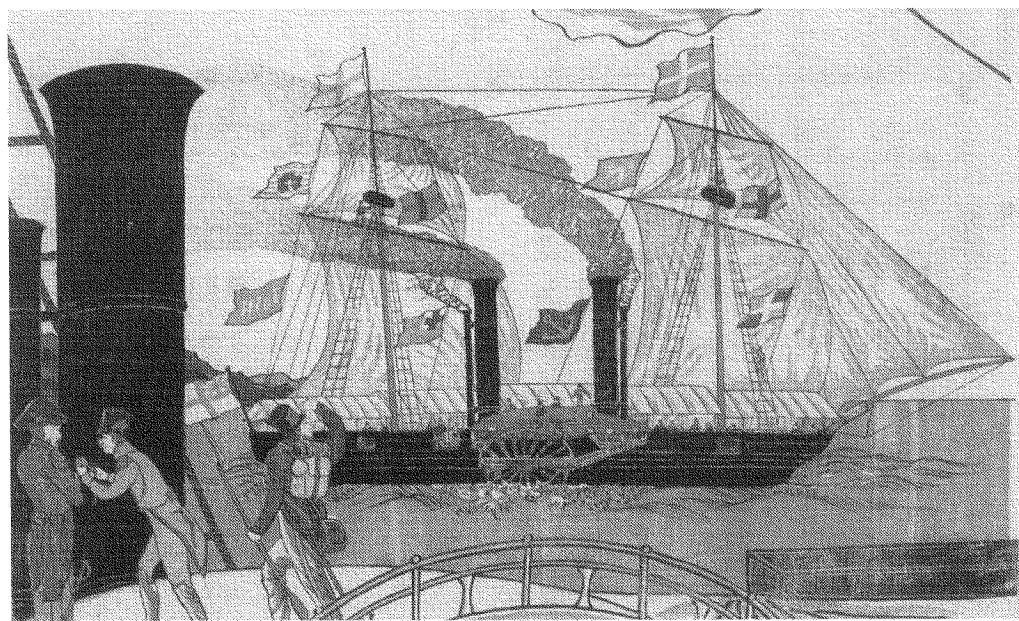


图 2

日本史A

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 電話 イ 石炭 ② ア 電話 イ 石油
③ ア 電信 イ 石炭 ④ ア 電信 イ 石油

問 2 下線部④に関して、明治初期の交通や通信について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 高橋是清が日本郵船会社を設立した。
② 新橋・横浜間にはじめて鉄道が開業した。
③ 人力車や乗合馬車が用いられた。
④ 飛脚に代わって官営の郵便制度が整えられた。

問 3 下線部⑤に関連して、海上交通に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 鑑真は何度も遭難しながらも、日本へ渡って仏教の戒律を伝えた。
Ⅱ 蒸気船の咸臨丸が、幕府の軍艦としてはじめて太平洋を渡った。
Ⅲ 日本の朱印船が東南アジアへ渡航して、さかんに貿易が行われた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
③ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ④ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

(下書き用紙)

日本史Aの試験問題は次に続く。

日本史A

第2問 近世から近代にかけての政治・外交や貿易に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 23)

A 次の史料は、1844年にもたらされたオランダ国王ウィレム2世の親書を日本側で翻訳した文章である。

イギリス商人が中国の役人と広東で争いを起こし、ついに①大きな戦争となりました。数千の中国人が多く場所で敗死し、数万の宝物を失い、嘆かわしい有り様です。……

あなたの国が②異国と広く交わることを国禁としていることは承知しています。しかしながら……もし古い法を堅く守って、かえって害を生じる時には、その制度をゆるめることを考えるべきではないでしょうか。……③あなたの国で争乱などが起こらないように、外国にかかわることについて、あなたの国の規則をゆるめる決定をお願いいたします。これはまったく誠意から申し上げていることで、自分の利益のために申し上げているものではありません。

(『通航一覧続輯』をもとに現代語訳)

問1 下線部①を指す語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① アロー戦争
- ③ アヘン戦争

- ② 太平天国の乱
- ④ シパーヒー(セポイ)の反乱

問 2 下線部⑥に関連して、当時の政策に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 日本人の自由な海外渡航は禁止されていた。
- ② キリスト教が禁圧されていた。
- ③ オランダ船との貿易は長崎に限定されていた。
- ④ ロシアとの間に条約を結び、国境を定めていた。

問 3 下線部③に関連して、19世紀の対外関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 6

- Ⅰ 長州藩の砲台を、四国連合艦隊が攻撃した。
- Ⅱ 異国船打払令(無二念打払令)をゆるめて、薪水給与令が出された。
- Ⅲ ロシア使節レザノフが、通商を求めて長崎に来航した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ③ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ④ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

日本史A

B 次の表1・2は、1863年から1865年にかけての貿易統計である。この表から、開港後の貿易品目や貿易額の変化、開港地による相違など、㊦幕末の貿易や経済の様子を知ることができる。

表1 横浜港における上位3品目の輸出入額

		(単位：1,000ドル)		
		1863年	1864年	1865年
輸 出	生糸	8,824(83.6%)	生糸 6,162(68.5%)	生糸 14,612(83.7%)
	原綿	934(8.8%)	原綿 1,792(19.9%)	茶 1,777(10.2%)
	茶	541(5.1%)	茶 465(5.2%)	蚕種 660(3.8%)
輸 入	毛織物	1,047(28.3%)	綿織物 1,714(30.9%)	毛織物 5,759(43.8%)
	金属	797(21.5%)	毛織物 1,622(29.2%)	綿織物 4,707(35.8%)
	綿織物	586(15.8%)	綿糸 756(13.6%)	綿糸 862(6.6%)

(注) 百分率はそれぞれ輸出総額・輸入総額における比率である。

表2 3港の輸出入額

		(単位：1,000ドル)		
港		1863年	1864年	1865年
輸 出	横浜	10,554(86.5%)	8,997(85.1%)	17,468(94.5%)
	長崎	1,388(11.4%)	1,160(11.0%)	561(3.0%)
	箱館	266(2.2%)	415(3.9%)	462(2.5%)
	全国	12,208(100.0%)	10,572(100.0%)	18,490(100.0%)
輸 入	横浜	3,701(59.7%)	5,554(68.6%)	13,153(86.9%)
	長崎	2,468(39.8%)	2,410(29.7%)	1,857(12.3%)
	箱館	30(0.5%)	138(1.7%)	134(0.9%)
	全国	6,199(100.0%)	8,102(100.0%)	15,144(100.0%)

(注) 「全国」とは、3港の合計額のことである。また、四捨五入しているため数字の合計が合わない場合もある。

(表1・2は、『横浜市史』より作成)

問 4 表 1 から読み取ることができる内容として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 生糸の輸出額は、一貫して増加している。
- ② 綿織物や毛織物の輸入額は、一貫して増加している。
- ③ 輸出額の 8 割以上を、つねに生糸が占めていた。
- ④ 茶の輸出額はしだいに低迷した。

問 5 表 2 から読み取った内容を記した次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 長崎の輸出入額はともに下降を続け、一貫して輸出超過の状態が続いた。

Y 全国の貿易収支は黒字が続き、1865 年には全国の輸出入額の 8 割以上を横浜が占めた。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問 6 下線部①に関連して、幕末期の貿易や経済に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日米修好通商条約では、日本側に関税自主権がなかった。
- ② 生糸などの流通統制を目的とし、幕府は五品江戸廻送令を出した。
- ③ 外国貿易によって在来の織物業などが打撃を受ける一方、生糸や茶の生産がさかんになった。
- ④ 改税約書が結ばれると、関税率は大幅に引き上げられた。

日本史A

C 薩摩藩出身の **ア** は、藩主島津斉彬に登用された。その後不遇の時期もあったが、1866年の薩長同盟(薩長連合)の成立に尽力し、江戸城の無血開城など戊辰戦争を指導して名をあげた。彼の幼なじみに、同じ薩摩藩士の **イ** がいる。**イ** もまた、討幕運動の指導者となり、1871年、明治新政府のもとで⑨条約改正をめざした遣外使節団に参加した。**ア** は、1877年の士族反乱で敗死し、その翌年 **イ** は、不平士族によって暗殺された。

問7 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① **ア** 西郷隆盛 **イ** 五代友厚 ② **ア** 西郷隆盛 **イ** 大久保利通
③ **ア** 坂本竜馬 **イ** 五代友厚 ④ **ア** 坂本竜馬 **イ** 大久保利通

問8 下線部⑨に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

X 使節団は、不平等条約の改正に成功した。

Y 使節団は、征韓論を主張して、留守政府と対立した。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

(下書き用紙)

日本史Aの試験問題は次に続く。

日本史 A

第3問 近現代の社会・文化に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 22)

A 1920年代以降、日本各地で①都市化の傾向が顕著になった。特に②1920年代には、都市を中心に鉄道網やガス・水道などが整備されたほか、メディアの発展を受けて大衆文化が浸透した。

この時期には労働運動や農民運動など、さまざまな社会運動が展開された。例えば、1920年に設立された新婦人協会は、平塚雷鳥や を中心に、女性の政治的権利を求める運動を展開した。また、杉山元治郎らを中心に、1922年に結成された は、日本最初の小作人組合の全国組織としてその後の小作争議を指導した。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 市川房枝 イ 日本農民組合
- ② ア 市川房枝 イ 農地委員会
- ③ ア 伊藤野枝 イ 日本農民組合
- ④ ア 伊藤野枝 イ 農地委員会

問 2 下線部③について述べた文として正しいものを、次の表 1・2 を参考にし、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

表 1 人口規模別市町村人口(千人)

	50万人未満の市町村	50万人以上の市
1920年	51,336(91.7%)	4,626(8.3%)
1930年	55,843(88.0%)	7,605(12.0%)
1940年	58,729(80.3%)	14,384(19.7%)

表 2 産業別就業者数(千人)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他	総数
1920年	14,442(53.6%)	5,576(20.7%)	6,424(23.8%)	524(1.9%)	26,966(100.0%)
1930年	14,490(49.4%)	5,993(20.4%)	8,788(30.0%)	71(0.2%)	29,341(100.0%)

(安藤良雄編『近代日本経済史要覧(第2版)』より作成)

(注) 表 1 の百分率は内地総人口に対する比率、表 2 の百分率は全就業人口に対する比率である。数値は四捨五入したため、総数が一致していないものがある。

- ① 人口 50 万人以上の市に住む人の比率は、1920～40 年の間で減少している。
- ② 第 1 次産業に従事する人の比率は、1920～30 年の間で減少している。
- ③ 人口 50 万人未満の市町村に住む人の数は、1920～40 年の間で減少している。
- ④ 第 3 次産業に従事する人の数は、1920～30 年の間で減少している。

問 3 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 新橋—横浜間に日本ではじめての鉄道が開通した。
- ② 東京の銀座通りに日本ではじめてのガス灯が設置された。
- ③ 『東京日日新聞』などの日刊紙が創刊された。
- ④ 『サンデー毎日』などの週刊誌が創刊された。

日本史A

B 次の図は、福岡県のある都市で1930年に行われた市会議員選挙のポスターの一部を模式化したものである(人名などは変えてある)。推薦者の言葉に「市民本位」「労力本位」といった語句が見られるほか、候補者の氏名の左側にハングル(朝鮮文字)のルビがある点が印象的である。

戦前期、植民地の朝鮮では③普通選挙制度は実現しなかった。しかし、日本列島に居住する朝鮮人は、この点に限っては日本人と同等の権利を行使できた。ただし、かれらがさまざまな差別を受けたことには変わりはなかった。差別の多くは戦後の日本社会に継承されると同時に、上で述べた、日本人と同等に行使できた権利も戦後は取り消された。この間、④1945年には、10月に北海道の夕張炭鉱で朝鮮人労働者がストライキを起こすなど、差別に対する抵抗が根強く続けられた。

<p>◆◆◆ 市民本位の田中氏を推薦す 鈴木 万作</p> <p>◆◆◆ 労力本位の田中氏を推薦す 山田 豊作</p> <p>◆◆◆ 我等の味方田中候補を落とすな 佐藤 金太</p> <p>◇◇◇ 立候補について 田中 一郎</p> <p>◇◇◇ 応援弁士 竹田 太郎</p>	<p>政見発表</p> <p>田 中 一 郎</p> <p>다 타 나카 이치 로우</p> <p>나카 이치 로우</p> <p>大演說會</p>	<p>時</p> <p>五月三十日午後七時</p> <p>所</p> <p>西本町公会堂</p>
--	--	--

問 4 このポスターについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① この候補者は、皇民化政策によって朝鮮語を使用させられていた。
- ② この候補者は、社会民主党の応援を受けて選挙活動を行っていた。
- ③ この都市ではこのとき、高額納税者にしか選挙権がなかった。
- ④ この都市に住んでいる朝鮮人には、選挙権を有するものがいた。

問 5 下線部◎に関連して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

X 1946 年の衆議院議員総選挙で、はじめての女性代議士が誕生した。

Y 1919 年に政党内閣のもとで、男子普通選挙が実現した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問 6 下線部①に関連して、1945 年に起きた出来事に関して述べた次の文 I～III について、古いものから順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

I 米軍が沖縄に上陸して沖縄戦がはじまった。

II 広島・長崎に原爆が投下された。

III 皇族の東久邇宮稔彦が内閣を組織した。

- ① I — II — III
- ② II — I — III
- ③ II — III — I
- ④ III — I — II

日本史 A

C 敗戦後の日本では、戦時下に政府が強調した価値観の多くが否定され、㉔民主主義的思想や運動が定着する条件が整えられていった。このことは、天皇の政治的地位や役割も変化させた。

1946年の元旦に、㉕「人間宣言」とよばれる昭和天皇の詔書が出された。そこで昭和天皇は、かつて明治天皇が出した政治方針である五箇条の誓文にふれ、「須らく此の御趣旨に則り」^{すべか こ}、民意をおさえつけずに「官民挙げて平和主義に徹」すべきであると主張した。そして、国民が思想混乱の傾向にあるとする一方で、天皇と国民との関係を、「天皇を以て現御神^{もつ あきつ み かみ}(注)とし、且日本国民を以て他の民族に優越せる民族(中略)との架空なる観念に基くものにも非ず」^{かつ}と強調した。天皇はこうして、自らの政治的立場を改めて定義しなおしたのである。

(注) 現御神：人の姿となってこの世に現れた神の意。

問 7 下線部㉔について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

18

- ① 民法が改正され、戸主の権限が強化された。
- ② 刑法が改正され、不敬罪の規定が設けられた。
- ③ 労働組合法が公布され、労働者の争議権が保障された。
- ④ 日本国憲法が公布され、天皇が主権者と規定された。

問 8 下線部㊦の内容を説明した次の文 X～Z について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19

X これからの天皇と国民との関係は、天皇を神と見なすような架空の観念にもとづくものではない。

Y これからは明治天皇が発した五箇条の誓文を否定し、平和な日本を建設しなくてはならない。

Z 日本国民は他の民族に優越する民族であり、この観念にもとづいて思想混乱を克服しなくてはならない。

① X 正 Y 誤 Z 正 ② X 正 Y 誤 Z 誤

③ X 誤 Y 正 Z 正 ④ X 誤 Y 正 Z 誤

日本史 A

第 4 問 明治前期の政治に関する次の文章を読み、下の問い(問 1～4)に答えよ。

(配点 12)

憲法制定と国会開設を柱に立憲制の樹立を求めた自由民権運動は、1880 年に入って急速な盛り上がりを見せる。この年 3 月に組織された **ア** は、11 月、東京で開催した第 2 回大会において、翌年の大会までに憲法草案を作成して持ち寄ることを決定した。その結果、翌年までに多くの **㉔** 私擬憲法が起草された。

自由民権運動の高揚に対して、政府は、1880 年 4 月に **イ** を定めて弾圧を強化する一方、翌 1881 年 10 月には、1890 年の国会開設を約した勅諭を發布して、危機を乗り切った。

ついで政府は、1885 年、**㉕** 内閣制度を創設し、翌年から憲法の起草に着手した。そうして 1889 年 2 月には **㉖** 大日本帝国憲法を發布して、近代国家としての体制を整えた。

問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の **㉑**～**㉔** のうちから一つ選べ。 **20**

- | | | | | |
|---|---|--------|---|------|
| ㉑ | ア | 国会期成同盟 | イ | 集会条例 |
| ㉒ | ア | 国会期成同盟 | イ | 保安条例 |
| ㉓ | ア | 愛国社 | イ | 集会条例 |
| ㉔ | ア | 愛国社 | イ | 保安条例 |

問 2 下線部㉔に関連して、次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

X この人物は、革命権や抵抗権を規定した憲法草案を起草した。

Y この草案は、地域の青年たちの学習活動から生まれた。

a 中江兆民

b 植木枝盛

c 日本帝国憲法(五日市憲法草案)

d 民撰議院設立建白書

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 3 下線部㉕について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

① 内閣総理大臣と国务大臣の職が創設された。

② 国会開設にそなえて行政府の強化を意図した。

③ 伊藤博文が初代内閣総理大臣となった。

④ それまでの太政官制と併存することになった。

問 4 下線部㉖に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23

X 憲法の起草作業は、法律顧問ロエスレルの助言も得て進められた。

Y 憲法は、国民の代表による会議の議決を経て発布された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史 A

第5問 日本の憲政史上、もっとも長期にわたって衆議院議員をつとめた尾崎行雄に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 23)

A 尾崎行雄(1858～1954)は第1回総選挙に当選して以来、1952年の第25回総選挙まで連続して当選を果たし、その生涯の多くを衆議院議員として生きた。明治～大正初期の尾崎は藩閥政府批判に活躍し、では内閣打倒に大きな役割を果たした。

1919年に①第一次世界大戦で疲弊したヨーロッパを視察した尾崎は、現代の戦争がもたらす惨禍の深刻さに驚き、将来の戦争を防止するために軍備縮小の実行を主張するようになった。しかし尾崎が1921年2月の議会に提出した軍縮決議案は、議員たちの理解を得ることができず、圧倒的票差で否決された。

ところが、同年7月にアメリカ政府がの開催を提起すると、日本政府はこれに参加することを決定し、翌1922年には海軍軍縮条約が締結された。以後、軍縮への動きは大きな流れとなり、1930年には②2度目の海軍軍縮も実施されることになった。この間を通じて尾崎は軍縮の必要を説き続け、日本を代表する軍縮論者として知られるようになった。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|--------------|-----------|
| ① ア 大正政変 | イ パリ講和会議 |
| ② ア 大正政変 | イ ワシントン会議 |
| ③ ア 明治十四年の政変 | イ パリ講和会議 |
| ④ ア 明治十四年の政変 | イ ワシントン会議 |

問 2 下線部㉔の時期の日本外交に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

25

- Ⅰ シベリア出兵を行った。
- Ⅱ 中国政府に二十一カ条の要求を行った。
- Ⅲ 日英同盟を理由にドイツに宣戦布告した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ③ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ④ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 3 下線部㉕について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

26

- X 条約は若槻礼次郎内閣の時に調印された。
- Y 条約の批准をめぐる統帥権干犯問題が起こった。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

日本史 A

B 1930年代に入ると、日本は戦争への道を歩むようになる。次の史料は、1933年、尾崎行雄が当時の情勢を憂えて発表した文章の一部である。

紀律が乱れて、軍人が長上(注1)に反抗したり、政治に干渉したり、長上の命令を受けずして専恣(注2)の振舞をなすようになっては、皇室のためにも、又人民のためにも、軍隊ほど危険なものはない。◎内にあつては徒党を結んで、陛下最高の職司を虐殺し、外に於ては勅命をも請わずして全世界を敵に取るべき軍事行動を開始す。是みな軍人の所業にして、規律の頹廢(注3)に是より甚しきはない。(中略)かくの如くにしてやまずんば、内憂外患も到つて国家は遂に滅亡するよりほかはなからう。然るに、全国官民は声色を励まして軍人の横暴を叱責する事の代わりに、却(注4)て諛辞(注3)諂言(注3)、徒らに之に追従し、之を煽動し、遂に帝国をして進退維谷(注4)の窮地に陥らしめんとして居る。実に長嘆(注4)大息すべきである。

『尾崎号堂全集』第8巻

(注1) 「長上」=上位の者

(注2) 「専恣」=わがまま、ほしいまま

(注3) 「諛辞」「諂言」=へつらいのことば

(注4) 「進退維谷」=進むことも退くこともできず困り果てること

問 4 下線部◎に関連して、1930年代の軍部の行動に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

Ⅰ 関東軍が、柳条湖で満鉄の線路を爆破した。

Ⅱ 陸軍の青年将校らが、部隊を率いて政府要人や重要施設を襲撃した。

Ⅲ 海軍の青年将校らが、犬養毅首相を射殺した。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

④ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 5 この史料に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 尾崎は、当時の軍部の行動を、紀律(規律)の頽廃を示すものとみていた。
- ② 尾崎は、当時の軍部を、国家を滅亡に導きかねない危険な存在とみなしていた。
- ③ 尾崎は、軍部の政治への干渉をやむをえないものとみなしていた。
- ④ 尾崎は、官民こぞって軍部を支持している状況を嘆いていた。

日本史 A

C 太平洋戦争が開始されると、政治・社会に対する統制はさらに強まった。1942年の翼賛選挙では、軍部に批判的な尾崎は非推薦で立候補し、当選したとはいえ、かつてなく苦しい選挙活動を強いられた。このような選挙を実施した東条内閣も、1944年の **ウ** をきっかけに総辞職し、日本の敗戦は不可避となっていた。

1945年に戦争が終結すると、尾崎は平和実現の根本策として①「世界連邦」の建設を提唱するなど、二度と戦争が起きない世界を作らねばならないと主張した。また日本国憲法の平和主義を高く評価しつつ、日本人は自らが「真の平和愛好者であることを、実践を通して説明」する必要があると述べた。しかしこうした尾崎の理想主義的平和主義は、東西冷戦が激化し、1950年に **エ** が勃発するという国際政治の現実のなかで、大きく揺らぐこととなる。

明治・大正・昭和を議会人として生きた尾崎は、1954年に死去した。その翌年には「55年体制」とよばれる戦後の政治体制が成立し、そのもとで日本は②高度経済成長の時代を迎えることになる。

問 6 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- ① ウ ミッドウェー海戦の敗北 エ ヴェトナム戦争
- ② ウ ミッドウェー海戦の敗北 エ 朝鮮戦争
- ③ ウ 米軍によるサイパン島占領 エ ヴェトナム戦争
- ④ ウ 米軍によるサイパン島占領 エ 朝鮮戦争

問 7 下線部③に関連して、20世紀に成立した国際機構について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

- ① 国際連盟はアメリカ大統領の提唱で設立された。
- ② 日本は国際連盟の常任理事国であった。
- ③ 日本の敗戦後、国際連合の設立準備がはじまった。
- ④ 日本の国際連合加盟は、日ソ国交回復後に実現した。

問 8 下線部㉔に関連して述べた次の文 a～d について、1960 年代に起こった出来事として正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

31

- a 自衛隊が発足し、防衛庁が設置された。
- b 公明党が結成された。
- c 為替相場が変動相場制に移行した。
- d 東海道新幹線が開通した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史 A

第 6 問 近現代の文化と政治に関する次の文章 A・B を読み、下の問い(問 1～5)に答えよ。(配点 14)

A ラジオ放送は、㉔近代科学技術を利用して、国民に向かっていちどきに音声を届けることを可能にしたはじめてのメディアであった。日本では 1925 年に放送がはじまり、ラジオから流れる落語や音楽は、㉕庶民の楽しみの一つになった。ラジオ体操やスポーツ中継も行われ、国民の健康増進やスポーツの普及にもかかわったが、㉖国民に情報を伝えるマスメディアの一つとして、ラジオは政治的にも重要な役割を果たした。

問 1 下線部㉔に関連して、次の文 X・Y と、それに該当する人物名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

X この人物は、超短波用アンテナを発明した。

Y この人物は、KS 磁石鋼を発明した。

a 北里柴三郎

b 八木秀次

c 本多光太郎

d 岸田劉生

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

問 2 下線部⑥に関連して、昭和初期の文化に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

X トーキー(発声映画)の制作がはじまった。

Y 榎本健一(エノケン)が喜劇俳優として人気を得た。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部③に関連して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

34

I 海外の戦況や本土空襲に関する警報が放送された。

II 満州事変が起こると、多くの新聞は軍の行動を支持した。

III 昭和天皇がラジオ放送によって戦争の終結を国民に告げた。

① I — II — III

② II — I — III

③ II — III — I

④ III — I — II

日本史A

B 1945年まで日本には①徴兵制度があり、国民の生活に大きな影響をおよぼした。男性は満20歳になる年に徴兵検査が義務づけられ、身長・体重・胸囲・視力・聴力・病気などが調査されて、甲種・乙種・丙種などにランク分けされた。平時における現役兵は、甲種合格者を中心に選抜された。しかし日中戦争が始まると大量の兵員が必要となり、選抜の基準がしだいに引き下げられるようになった。さらに太平洋戦争に突入し、戦局が悪化すると、②徴兵年齢が引き下げられるとともに、学生も軍隊に動員され、戦死者も急速に増大していった。敗戦後、日本の陸海軍は解体され、徴兵制度も廃止された。

問4 下線部①に関連して、日本の軍隊制度について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 創設当初の徴兵制度は、戸主やその跡継ぎの兵役を免除していた。
- ② 軍人の徳目を説いた軍人勅諭が発布された。
- ③ 大日本帝国憲法に臣民の兵役義務が規定された。
- ④ 陸海軍の統帥は内閣総理大臣の権限とされた。

問5 下線部②に関連して、軍隊と学校に関する次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

- Ⅰ 中等学校以上の学校に配属将校を置いて、軍事教練が開始された。
- Ⅱ 沖縄の男子中学生らが鉄血勤皇隊に組織された。
- Ⅲ 大学や高等専門学校の文科系学生の学徒出陣が開始された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ
- ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ
- ④ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ